

# 『思考のテンプレート』（初級編）

## 1. 素材となるルーティンワークについて

ミッション

依頼主の事前期待値

(= 評価レベル

**B**)

### ※【ルーティンワークの評価レベル】

- S …事前期待値を大幅に上回り、会社の6つの目的に大きく貢献する or 問題を解決する
- A …事前期待値を満たし、その上で創意工夫やサプライズがある
- B …事前期待値通り（往々にして「納期を守ってミスなく」が多い）
- C …事前期待値未満（納期に遅れる or ミスがある）

## 2. 成果の「利用シーン」「利用者」をイメージする(できるなら目視する)

- ① このミッションの利用シーン \_\_\_\_\_
- ② このミッションの利用者(群) \_\_\_\_\_
- ③ このミッションが構造的(慢性的)に抱える問題点はないか \_\_\_\_\_

## 3. 以上のことを踏まえて方向性を決めてアイデアを出す

- ① 速さでサプライズ \_\_\_\_\_
- ② 利便性でサプライズ \_\_\_\_\_
- ③ サプライズな付録 \_\_\_\_\_

## 4. すぐに思いつかなければ相手からヒアリングする。もしくは、データ化して分析・比較する

- ① ヒアリングからのヒント \_\_\_\_\_
- ② データ化して分かったこと \_\_\_\_\_

## 5. それでも何もなければ、一般的な業務改善をしておく

- ① 効率性を上げる(工数を減らす工夫) \_\_\_\_\_
- ② 汎用性をつける(他の業務でも使えるようにする) \_\_\_\_\_

## 6. 相手の期待値を超えるアウトプット(セルフ・ブランディング)

アウトプット:

(= 想定される評価レベル

※相手の期待値を実際にどれくらい超えたかを追って確認する。

## 7. 結果を検証する

アウトプットの仕上がり依頼者、利用者、周囲の評価

(= 最終評価レベル